

令和5年度  
岐阜聖徳学園大学同窓会  
役員会議案書

〔日時〕 令和5年8月5日（土）  
10:00～  
〔会場〕 都ホテル岐阜長良川

岐阜聖徳学園大学同窓会

## 次第

### 1. 議 事

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| ①令和4年度事業報告         | ・・・資料No.1-1～6 |
| ②令和4年度決算報告及び会計監査報告 | ・・・資料No.2     |
| ③令和5年度役員(案)        | ・・・資料No.3-1～3 |
| ④令和5年度事業計画(案)      | ・・・資料No.4     |
| ⑤令和5年度助成計画(案)      | ・・・資料No.5-1～2 |
| ⑥令和5年度予算(案)        | ・・・資料No.6     |
| ⑦その他審議事項           | ・・・資料No.7     |
| ⑧その他               |               |

### 2. 大学近況報告 評議員紹介等

※必要に応じて参考資料をご覧ください。

【おことわり】「資料No.3-1～2」の資料は氏名及び卒業年度の記載があるため、公開していません。  
会員の住所や電話番号の記載がある資料は一部加工しています。

令和4年度事業報告

令和4年7月14日	同窓会執行部会開催(羽島キャンパス6号館2階会議室) (出席者) 執行部役員9名 大学1名
令和4年8月4日	令和4年度同窓会役員会開催 (出席者) 評議員20名 大学3名
令和4年10月	Yawaragiダイジェスト発送 18,230通 大学広報誌「Yawaragi」は当初Webのみに移行する予定だったが、大学でダイジェスト版を卒業生分も作成することにしたため、従来通り卒業生に郵送する。また、大学祭期間中に学内コンビニ(ヤナカメ)で利用できる金券を同封する。
令和4年10月	クレマチス祭開催 3年ぶりに卒業生の入場が可能になった。学内コンビニ(ヤナカメ)で利用できるチケット配付(利用者24名)
令和4年12月	岐聖祭開催 3年ぶりに卒業生の入場が可能になった。4号館1階で写真展示とビデオ上映を実施。学内コンビニ(ヤナカメ)で利用できるチケット配付(利用者合計200名)
令和5年3月15日	同窓会入会式(712名入会) ※同窓生総数22,341名(令和5年3月現在)
助成関係	(1) 学生・サークル等への助成 ○大学卒業記念パーティー助成 羽島キャンパス(教育・外国語・看護)200,000円 岐阜キャンパス(経済情報)50,000円  ○水泳部 第98回日本選手権出場激励金(20,000円) 第98回日本学生選手権水泳競技大会出場激励金(50,000円) 第98回日本選手権水泳競技大会OWS競技(20,000円 3名) 第64回日本選手権(25m)水泳競技大会(20,000円)  ○ゴルフ部 日本女子アマチュアゴルフ選手権出場激励金(20,000円) 文部科学大臣杯争奪第5回日本女子学生ゴルフ王座決定戦(20,000円)  ○男子ソフトボール部 第57回全日本大学男子選手権(インカレ)激励金(50,000円)  ○軟式野球部 第2回全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2022激励金(50,000円)

	<p>○第77回国民体育大会(とちぎ国体) 各県代表選手激励金 水泳【OWS】3名、【競泳】1名、ゴルフ1名(各20,000円)</p> <p>(2) 事業後援 ○第10回「授業の鉄人」コンクール後援(300,000円) ○第4回瑠瑠会(そうそうかい)コンサート後援(60,000円) ○教育実践科学研究センター紀要 該当者なし</p> <p>(3) 在学生支援 ○該当なし</p> <p>(4) 同窓会等助成(1,000円/参加者1名あたり) ○数学専修同窓会(平成31年3月卒業生) ○聖和会学習会</p> <p>(5) 卒業生激励 ○該当なし</p>
--	--

(1) 学生・サークル等への助成

・大学卒業記念パーティー助成

羽島キャンパス 第2学生会館で抽選会開催

岐阜キャンパス 岐阜都ホテルで卒業記念パーティー開催

・水泳部

第98回日本選手権水泳競技大会出場

期間 2022年4月28日(木)~5月1日(日)

会場 神奈川・横浜国際プール

出場結果

女子 50m 平泳ぎ

朝日菜月(教育学部体育専修4年) タイム 34.61 36位

第98回日本学生選手権水泳競技大会

期間 2022年8月28日(日)~8月31日(水)

会場 東京辰巳国際水泳場

出場結果(主な結果)

女子 200m 背泳ぎ(クラスなし)

B決勝 越智夏織(経済情報学部1年) タイム 2:19.97 8位

女子 100m 平泳ぎ(クラスなし)

B 決勝 朝日菜月(教育学部 4年) タイム 1:10.81 5位

その他の出場種目

女子 50m 自由形(クラスなし) 予選

男子 100m 平泳ぎ(クラスなし) 予選

女子 100m 平泳ぎ(クラスなし) 予選

女子 200m 背泳ぎ(クラスなし) 予選

女子 200m 平泳ぎ(クラスなし) 予選

女子 200m バタフライ(クラスなし) 予選

女子 400m フリーリレー(クラスなし) 予選

男子 400m フリーリレー(クラスなし) 予選

女子 800m フリーリレー(クラスなし) 予選

男子 800m フリーリレー(クラスなし) 予選

女子 400m メドレーリレー(クラスなし) 予選

男子 400m メドレーリレー(クラスなし) 予選

#### 第 98 回日本選手権水泳競技大会 OWS 競技

期間 2022 年 10 月 15 日 (土)・16 日 (日)

会場 千葉県館山市・北条海岸

出場結果

男子 10Km 三浦元暉(外国語学部 1年) タイム 2:23:32.1 36位

松本悠汰(経済情報学部 2年) タイム 2:27:13.5 38位

女子 5Km 中島祐佳(看護学部 2年) タイム 1:07:53.7 28位

#### 第 64 回日本選手権 (25m) 水泳競技大会

期間 2022 年 10 月 22 日 (土)~2022 年 10 月 23 日 (日)

会場 東京辰巳国際水泳場

女子 50m 平泳ぎ

朝日菜月(教育学部体育専修 4年) タイム 31.49 B 決勝 6位

#### ・ゴルフ部

2022 年度(第 63 回)日本女子アマチュアゴルフ選手権競技

開催期間 2022 年 6 月 14 日 (火) ~17 日(金)

会場 岐阜関カントリー倶楽部・東コース (6, 568 ヤード パー72)

出場結果

第 23 位 田中こころ(経済情報学部 1年) スコア+2 TOTAL 290

文部科学大臣杯争奪第 5 回日本女子学生ゴルフ王座決定戦

開催期間 2022 年 11 月 29 日 (火) ~12 月 2 日 (金)

会場 宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部

出場結果

第 21 位タイ 田中こころ(経済情報学部 1 年) スコア TOTAL 79

・男子ソフトボール部

第 57 回全日本大学男子選手権 (インカレ)

開催日時 2022 年 9 月 10 日 (土) ~9 月 12 日 (月)

開催場所 富山市 岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場

出場結果 第 3 位(32 チーム出場)

1 回戦 岐阜聖徳学園大学(東海)7-0 熊本学園大学(九州)

2 回戦 岐阜聖徳学園大学(東海)9-6 愛知学院大学(東海)

3 回戦 岐阜聖徳学園大学(東海)8-1 中央大学(東京)

準決勝 岐阜聖徳学園大学(東海)2-4 京都産業大学(近畿)

・軟式野球部

第 2 回 全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2022

会場 長野オリンピックスタジアム 他

期間 2022 年 8 月 21 日 (日) ~8 月 26 日 (金)

出場結果 第 3 位(30 チーム出場)

1 回戦 岐阜聖徳学園大学(東海) 8-0 松本大学(長野)

2 回戦 岐阜聖徳学園大学(東海) 2-0 日本体育大学(東都)

3 回戦 岐阜聖徳学園大学(東海) 7-0 桐蔭横浜大学(南関東)

準決勝 岐阜聖徳学園大学(東海) 1-8 龍谷大学(京滋)

・第 77 回国民体育大会出場(栃木県)

水泳【OWS】 令和 4 年 9 月 10 日(土)

中島 祐佳 (鹿児島県代表)

松本 悠汰 (石川県代表)

三浦 元暉 (岐阜県代表)

水泳【競泳】 令和 4 年 9 月 17 日(土)~19 日(月)

朝日 菜月 (愛知県代表)

ゴルフ 令和 4 年 10 月 5 日(水)~7 日(金)

田中 こころ (岐阜県代表)

(2) 事業後援

・第 10 回授業の鉄人コンクール

日時 令和 5 年 1 月 12 日(日) 13:00~16:30

場所 岐阜聖徳学園大学羽島キャンパス 7 号館

主催 NPO 法人授業改革学会

申請者 西田耕介(教育学部中等教育課程数学専攻卒業)

審査結果

鉄人賞(岐阜市教育長賞)受賞者 1 名

上田 祐子（うえだ ゆうこ）先生 岐阜県 岐阜市立陽南中学校 教諭

中学校3年生 音楽

音楽活動を楽しみ、感性を豊かにはぐくむ生徒の育成～仲間の考え方や感じ方から自分の考え方や感じ方を深め広げられる生徒を目指して～

優秀賞受賞者 3名

石川 正明（いしかわ まさあき）先生 神奈川県 横浜市立吉原小学校 教諭

小学校3年生 理科

子どもの音に対する素朴な考えを生かした授業ー小学校理科第3学年「音の伝わり方と大小」ー  
奥田 昌太（おくだ しょうた）先生 岐阜県 大垣市立西小学校 教諭

小学校5年生 体育

個別最適化を目指した、誰一人取り残すことのない、ICTを活用した授業実践 ～学習の個性化・指導の個別化・協働的な学びを通して～

曾我 幸正（そが ゆきまさ）先生 岐阜県 岐阜市立加納中学校 教諭

中学校3年生 社会科

自分が住むまちに思いを馳せ、主体的によりよい地域社会を築こうとする生徒の育成 ～価値形成の授業の指導改善と ICT×思考ツールの活用を通して～

・事業名 第4回瑠瑠会（そうそうかい）コンサート

日時 令和4年8月21日（土） 13:00～16:30

場所 クララザール じゅうろく音楽堂

主催 瑠瑠会コンサート実行委員会

申請者 澁谷由美（教育学部中等教育課程音楽専攻卒業）

教育学部音楽科安田ゼミ卒業生 8名及び安田香元教授による演奏が行われた。当日は北島会長、谷口副会長が出席。

・事業名 教育実践科学研究センター紀要 教育実践研究奨励賞の助成

第22号の審査結果（令和4年度）

○最優秀教育実践研究奨励賞

該当なし

○優秀教育実践研究奨励賞

該当なし

### （3）在学生支援

・なし

### （4）同窓会等助成

・数学専修同窓会（平成31年3月卒業生）

令和4年5月4日開催 もえぎの里、境川緑道公園（岐阜市柳津町）

32名参加

・聖和会（名古屋市立学校教員同窓会）

令和4年10月15日開催 サイプレスガーデンホテル(名古屋市熱田区)

104名参加(卒業生102名 教職員2名)

※当日は「聖和会学習会」として開催し、明星小学校長細水保宏氏、本学教育学部鈴木明裕教授、玉置崇教授が出席し、模擬授業及びディスカッションを行った。

(5) 卒業生激励

なし



令和4年度同窓会決算報告書  
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

【収入の部】

科 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	差異	摘 要
会 費	7,260,000	7,130,000	130,000	713名分(4年次在籍者・卒業延期者を含む)
雑 収 入	5,000	11,832	△ 6,832	利息 名簿頒布等
前 年 度 繰 越 金	531,689	531,689	0	
同窓会基金からの繰り入れ	0	0	0	
合 計	7,796,689	7,673,521	123,168	

【支出の部】

科 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	差異	摘 要
人 件 費	300,000	0	300,000	
印 刷 製 本 費	500,000	213,480	286,520	Yawaragiダイジェスト、大学祭チケット印刷 他
通 信 運 搬 費	2,000,000	1,883,858	116,142	「和」送料 他
備 品 消 耗 品 費	300,000	1,976	298,024	事務用品
会 議 費	200,000	154,440	45,560	
旅 費 交 通 費	300,000	317,890	△ 17,890	車料 出張旅費
同 窓 会 事 業 費	3,500,000	1,412,608	2,087,392	同窓会助成 事業後援(授業の鉄人など)
雑 費	300,000	43,760	256,240	振込手数料 インターネットバンキング利用料
同 窓 会 基 金	200,000	3,000,000	△ 2,800,000	
翌 年 度 繰 越 金	196,689	645,509	△ 448,820	
合 計	7,796,689	7,673,521	123,168	

【同窓会基金】

科 目	金額
繰 越 金	57,825,429
本会計への繰り入れ	0
令 和 4 年 度 積 立 金	3,000,000
利 息	851
合 計	60,826,280

以上のとおり、報告いたします。

令和5年8月5日

岐阜聖徳学園大学同窓会 会計 森本 真 印

岐阜聖徳学園大学同窓会 会計 高橋 毅行 印

上記監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

令和5年8月5日

岐阜聖徳学園大学同窓会 会計監査 石樽 光子 印

岐阜聖徳学園大学同窓会 会計監査 若山 真澄 印

## 第2号議案 令和5年度事業計画(案)

令和5年 7月	同窓会執行部会 開催
令和5年 8月	同窓会役員会 開催
令和5年10月	『Yawaragi ダイジェスト』送付 10月のクレマチス祭コラボ企画、12月の岐聖祭コラボ企画を実施。学生食堂の営業は行わないので、模擬店または学内コンビニ用の金券を配付する予定。
令和5年12月	岐聖祭での写真展示
令和6年 3月	同窓会入会式(長良川国際会議場)

### ○岐阜大通信「Yawaragi」ダイジェスト版の送付について(継続)

「卒業生とのつながりを今後も強化したい」との方針で、「和」ダイジェスト版は卒業生分も作成する方針であると聞いているため、この分の送料は今後も本会で負担する。(仕様は未定)

### ○同窓会ネットワークの強化のための方法検討、準備

昨年度、北島同窓会長が大学観山正見学長(同窓会名誉会長)と懇談をし、学長から「同窓会ネットワークを再構築し、学生募集や在学生のインターンシップの斡旋および就職活動のサポートなどを依頼できる体制を整えてほしい」と要望があったことうけ、昨年度の同窓会役員会で生涯メールアドレスの提供などを検討したが、維持コストと費用対効果が見込めないと判断した。

これを受け、執行部会で昨年度の役員会でも紹介した Web によるコミュニティサイトのシステム導入を検討し、笑屋株式会社の Chimer の導入を提案する。

### ○大学保管の過去の写真データ、ビデオデータのデジタル化(継続)

過去の写真を専門業者に依頼しデータ化を進める(継続)。

ヤナカメで保管している過去の学内写真を買取り、デジタル化を進める。プリントしたものは今後写真展示等で使用する(継続)。

### ○岐聖祭での写真展示

第26回岐聖祭にて過去の写真展示・映像紹介を行う。当日の会場運営では評議員の皆さんにも協力をお願いする。

### 第3号議案 令和5年度助成計画(案)

1. 大学学生県人会 (15,000 円 / 1 件あたり)
2. 大学教職員と遠隔地出身者による地域別懇親会 (1 名あたり 3,000 円程度)
3. 大学卒業記念パーティー (羽島 200,000 円、岐阜 50,000 円)
4. 卒業生主催の同窓会 (1,000 円 / 参加者 1 名あたり)
5. 卒業生の企画による OB 報告会・教員養成講座 等 卒業生の旅費・謝礼の補助
6. 学生・サークル活動への助成
7. 卒業生を中心とする研修会、演奏会等への事業後援
8. 同窓会長賞による表彰・記念品授与(継続検討)
9. 学部別同窓会・職域別同窓会組織への支援(新規)
10. 大学オープンキャンパスでの卒業生コーナー支援(新規)

○同窓会(同期会・サークル OB・OG 会)等助成 (1,000 円 / 参加者 1 名あたり)

- ・聖和会学習会(名古屋市公立学校教員同窓会) ※10 月頃開催予定

○事業後援申請について(令和5年8月現在)

- ・事業名 第11回授業の鉄人コンクール  
申請者 西田耕介(教育学部中等教育課程数学専攻卒業)  
日 時 令和6年1月12日(日) 13:00~16:30  
場 所 岐阜聖徳学園大学羽島キャンパス  
主 催 NPO 法人授業改革学会  
参加費 なし

- ・事業名 看護学部同窓会「れんげ会」総会、ホームカミングデー  
日 時 令和5年12月2日(土)  
場 所 岐阜聖徳学園大学羽島キャンパス  
主 催 岐阜聖徳学園大学看護学部同窓会

○学生・サークル活動等への助成(令和5年8月現在)

#### 【サークル活動への助成】

(決定済み)

- ・男子ソフトボール部(個人) 2023 第8回男子 U-18 ソフトボール日本代表選出激励金  
経済情報学部 淀川瑛澄、梅田瑠河
- ・男子ソフトボール部(団体) 第57回全日本大学男子選手権大会出場激励金
- ・女子ソフトボール部(団体) 第58回全日本大学女子選手権退会出場激励金
- ・軟式野球部(団体) 第3回 全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2023

(検討中)

- ・大学側にニーズを調査してもらい、購入して寄贈することを検討

【学生への助成】

現在のところなし

○卒業生への助成(令和5年8月現在)

現在のところなし

※今後本学卒業生を公表しながら、多方面で活躍する卒業生に対しての支援も検討する。

令和5年度同窓会予算書(案)  
 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

【収入の部】

科 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	比較増減	摘 要
会 費	7,540,000	7,260,000	280,000	10,000円×754名(4年生790名-納入済み36名)
雑 収 入	5,000	5,000	0	利息等
繰 越 金	645,509	531,689	113,820	
同窓会基金からの繰り入れ	1,000,000	0	△ 1,000,000	システム導入準備等
合 計	9,190,509	7,796,689	1,393,820	

【支出の部】

科 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	比較増減	摘 要
人 件 費	300,000	300,000	0	
印 刷 製 本 費	400,000	500,000	△ 100,000	Yawaragiダイジェスト、大学祭チケット印刷 他
通 信 運 搬 費	2,200,000	2,000,000	200,000	役員会通知、「Yawaragiダイジェスト」送付 他
備 品 消 耗 品 費	300,000	300,000	0	校名入りグッズ作成 他
会 議 費	300,000	200,000	100,000	役員会、執行部会 他
旅 費 交 通 費	400,000	300,000	100,000	お車料 出張旅費 他
同 窓 会 事 業 費	4,500,000	3,500,000	1,000,000	各種助成 同窓会事業開催費 他
雑 費	300,000	300,000	0	振込手数料 他
同 窓 会 基 金	200,000	200,000	0	
翌 年 度 繰 越 金	290,509	0	290,509	
合 計	9,190,509	7,600,000	1,590,509	

科目間の流用可

【同窓会基金】

科 目	金額
繰 越 金	60,826,280
本会計への繰り入れ	1,000,000
令和5年度積立金	200,000
利 息	0
合 計	62,026,280

#### 第4号議案 その他の審議事項

(令和5年度検討事項)

1. 観山学長(名誉会長)から提案があった依頼事項について
2. 学園内部監査室からの是正事項(通知)について

令和5年度

岐阜聖徳学園大学同窓会

役員会議案書【参考資料】

〔日時〕 令和5年8月5日（土）

10:00～

〔会場〕 都ホテル岐阜長良川

岐阜聖徳学園大学同窓会





## 岐阜聖徳学園大学同窓会規約

### 第1章 総則

第1条 本会は岐阜聖徳学園大学同窓会と称する。

第2条 本会は同窓会事務局（以下「事務局」という）を岐阜聖徳学園大学内に置く。

2 事務局について必要な事項は、別に定める。

### 第2章 目的ならびに事業

第3条 本会は会員相互の親睦を図り、岐阜聖徳学園大学・旧聖徳学園岐阜教育大学（以下「母校」という）の発展につくし、進んで社会の教育・文化に貢献することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的のために次の事業を行う。

- (1) 会報・会員名簿・その他必要と認める出版物の刊行
- (2) 会員の親睦を図るための事業
- (3) 母校への協力
- (4) その他、本会の目的達成のために必要と認めたこと

### 第3章 会員

第5条 本会は次の会員で構成する。

- (1) 正会員 母校卒業生
- (2) 特別会員 母校現旧教職員
- (3) 名誉会員 母校に特別の関係があり会長の推薦した者

第6条 本会会員は、住所・勤務先・氏名を変更した場合は、直ちに本会に届けなければならない。

### 第4章 役員及び任務

第7条 本会に次の役員を置く。

- (1) 名誉会長 1名
- (2) 会長 1名
- (3) 副会長 2名
- (4) 庶務（書記） 2名
- (5) 会計 2名
- (6) 会計監査 2名
- (7) 評議員 卒業年度毎4名
- (8) 顧問 若干名

第8条 役員会の会務は次の規定による。

- 2 会長は本会を代表し会務を総括し、役員会及び総会の議長となる。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある場合はこれを代行する。
- 4 会計は本会の財務のすべてを処理する。
- 5 庶務（書記）は本会の記録その他事務を処理する。
- 6 評議員は会務の企画及び実施に関する事項を審議する。
- 7 名誉会長・顧問は会長及び評議員の諮問に応じ、また、これに意見を述べるができる。

第9条 役員は次の方法によって選出する。

- 2 名誉会長は、母校学長を推す。
- 3 会長・副会長・庶務（書記）・会計・会計監査は総会において、評議員の中から選出する。ただし、庶務（書記）の1名と会計の1名は母校教職員に委嘱することができる。
- 4 会長・副会長・庶務（書記）・会計・会計監査は、評議員と兼務とする。
- 5 評議員は正会員の中から卒業年度毎に各学部1名、計4名を選出する。ただし、会長の推薦がある場合はこの限りではない。
- 6 顧問は会長が委嘱する。

第10条 本会の役員任期は1年とし、再任を妨げない。

- 2 補欠によって就任した役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 役員はその任期満了後の後任者が就任するまでは、引き続きその職務を行う。
- 4 役員がその任期中離任する場合は、役員会の議決により解任し総会の承認を得る。役員に欠員

が生じた場合は、直ちに補う。

## 第5章 会議

第11条 本会の会議は、総会・臨時総会・役員会の3種類とする。

2 会議の議事は、すべての出席者（委任状提出者を含む）の過半数によって議決する。

第12条 総会は毎年1回開催し、次の事項を審議する。

- (1) 会務の報告及び各種事業に関すること。
- (2) 規約の規定及び改廃に関すること。
- (3) 会計報告ならびに予算審議に関すること。
- (4) 役員を選出に関すること。
- (5) その他の重要事項に関すること。

2 総会は役員会の開催をもって代えることができる。

第13条 臨時総会は会長が必要と認めた場合又は会員の3分の1以上の要求があった場合開催する。

第14条 役員会は本会役員で組織し、会長が必要と認めた場合開催する。

2 役員会は本会の事業遂行に必要な事項について審議する。

3 緊急を要する場合は、総会で議決する事項を役員会において議決することができる。

## 第6章 資産及び会計

第15条 正会員は、卒業時に入会金・終身会費・会員登録費として本会に10,000円納入する。

第16条 本会の会計は、毎会計年度の収支決算・収支予算案を役員会に提出して、その審議決定の上、総会の承認を得なければならない。

第17条 本会の決算は、会計監査の監査を得て、これを総会に報告する。

第18条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

## 第7章 支部の設立

第19条 正会員10名以上を有する地域には、本会の支部を設けることができる。

第20条 支部会には、本部から代表者を派遣して連絡親睦を図る。

## 第8章 規約の改正

第21条 規約の変更は、役員会の議決を経た後、総会の承認を要する。

## 第9章 雑則

第22条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附則

この規約は、昭和51年3月15日より施行する。

附則（全面改正）

この改正規約は、昭和63年3月15日より適用する。

附則

この規約は、平成4年4月1日より適用する。

附則（大学名称変更）

この規約は、平成10年4月1日より適用する。

附則

この規約は、平成20年4月1日より適用する。

附則

この規約は、平成21年4月1日より適用する。

附則

この規約は、平成23年4月1日より適用する。

附則

この規約は、平成30年4月1日より適用する。

様式第1号(第5条関係)(表)

令和5年 6月 18日

岐阜聖徳学園大学 同窓会長 様

住所 大垣市昼飯町 2008 番地

代表者名 西田 耕介  
(卒業生は学籍番号 855331 )

団体名 NPO 法人授業改革学会

電話番号 0584-71-0912・090-8555-0031

後援等申請書

下記の事業について、同窓会の【後援(実質・名義)・共催・賛助】を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

事業名	第11回授業の鉄人コンクール	
日時	令和6年1月7日(日)12時30分～令和6年1月7日(日)18:00	
場所	岐阜聖徳学園大学羽島キャンパス・7号館1階各教室・第2学生会館・駐車場	
事業概要	目的	別紙
	内容	別紙
	対象者及び予定者数	別紙 (予定者数 100 人)
参加費・入場料物販等の有無	(1)なし (2)なし(収支予算書を添付)	
益金の使途		
他の後援・共催団体名	愛知県教育委員会・岐阜県教育委員会・岐阜市教育委員会・羽島市教育委員会・大垣市教育委員会・NHK岐阜放送局・時事通信社・中日新聞社・岐阜新聞社・サンメッセ(株)・総合初等教育研究社・アレックカワイ(株)・昭和技研(株)・西濃建設(株)・東洋スタビ(株)	
添付書類	出場者募集チラシ、昨年度パンフレット	
事務局長意見	※	

## 事業報告書

岐阜聖徳学園大学施設使用・岐阜聖徳学園大学同窓会後援名義使用

令和5年6月18日

岐阜聖徳学園大学 事務局長 様

申 請 者	住 所	(〒 503-2216 ) 岐阜県大垣市昼飯町2008番地
	団体名及び 代表者氏名	特定非営利活動法人授業改革学会 会長 西田 耕介
承 認		令和 4年 2月
事 業 の 名 称		第10回全国「授業の鉄人」コンクール
主催者（共催者）		特定非営利活動法人授業改革学会
後援・協賛団体名		愛知県教育委員会・岐阜県教育委員会・岐阜市教育委員会・羽島市教育委員会・各務原市教育委員会・大垣市教育委員会・NHK岐阜放送局・時事通信社・中日新聞社・岐阜新聞社・総合初等教育研究所・岐阜聖徳学園大学同窓会・アレックカワイ・サンメッセ（株）・昭和技研（株）・（株）西濃建設（株）・東洋スタビ（株）
開 催 期 間 （ 表 彰 日 ）		令 和 5 年 1 月 8 日 ～ 令 和 5 年 1 月 8 日 (令和5年1月 8日)
開 催 場 所 （ 表 彰 場 所 ）		岐阜聖徳学園大学羽島キャンパス (7号館1階)
入 場 者 数		100名
入場料または参加費		有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> ※有の場合は、収支決算書を添付すること。
備 考  〔課題・問題点〕 等を記入		
添 付 書 類 該当番号に○印		1 収支決算書（入場料または参加費を徴収した場合のみ） ② プログラム，作品図録等 3 受賞者名簿（賞状交付があった場合のみ） 4 その他（ )

令和4年度 岐阜聖徳学園大学  
名古屋地区同窓会（聖和会）活動報告

月	活 動 内 容
4	幹事会1【4/2】 （総会紙面審議・学習会・組織・年間計画の検討、名簿の確認等） 事務局会I【4/23】 （学習会の検討、総会紙面審議・組織・年間計画の確認等）
5	幹事会2【5/21】 （青年部主催新会員歓迎会・会報発行計画の検討 総会紙面審議資料・名簿の発送準備等）
6	総会（紙面審議）【5/30～6/8】 学習会⇒中止 事務局会II【6/18】 （学習会の検討、青年部主催新会員歓迎会・会報発行計画の確認、 各種案内等発送準備等）
7	教頭学習会(研修)【7/14】 参加者21人 青年部主催新会員歓迎会（親睦・研修）【7/26】 中止
8	事務局会III【8/27】 （学習会の確認、学習会案内・会報17号の発送準備等）
9	教務主任学習会（研修）【9/9】 参加者14人
10	学習会（研修）【10/15】 参加者80人 講師：細水 保宏 先生（明星学苑明星小学校 校長） 鈴木 明裕 先生（岐阜聖徳学園大学 教授） 玉置 崇 先生（岐阜聖徳学園大学 教授） 模擬授業：学力差を意識した指導の工夫（5年「式と計算」） ディスカッション：テーマ「学力差を意識した指導の工夫 ～個別最適な学び・協働的な学びを踏まえて～」
11	
12	
1	
2	幹事会4【2/11】 （異動連絡票・R5年度年間計画・R5年度総会の検討等）
3	事務局会IV【3/11】 （反省・引き継ぎ、会報18号・異動連絡票の発送準備、会計監査等）

令和5年度 岐阜聖徳学園大学  
名古屋地区同窓会（聖和会）活動計画（案）

月	活 動 内 容
4	幹事会1【4/1】 （総会紙面審議・聖和会10周年記念講演会案内・組織・年間計画・ 教頭学習会・青年部主催新会員歓迎会の検討等） 事務局会Ⅰ【4/15】 （総会紙面審議・聖和会10周年記念講演会案内・組織・年間計画の確認等）
5	幹事会2【5/20】 （青年部主催新会員歓迎会・会報発行計画・教務主任学習会の検討、 総会紙面審議資料・聖和会10周年記念講演会案内・ 青年部主催新会員歓迎会案内の発送準備等）
6	総会（紙面審議）【5/29～6/7】 学習会⇒中止 事務局会Ⅱ【6/17】 （聖和会10周年記念講演会の検討、 青年部主催新会員歓迎会・会報発行計画・教務主任学習会の確認、 総会のご報告の発送準備等） 青年部主催新会員歓迎会（親睦・研修）【6月下旬】
7	教頭学習会(研修)【7月初旬】
8	事務局会Ⅲ【8/26】 （特別研修会の検討、聖和会10周年記念講演会の確認、 聖和会10周年記念講演会案内・会報19号発送準備等）
9	教務主任学習会(研修)【9月上旬】
10	聖和会10周年記念講演会(研修)【10/7】
11	特別研修会【11月中旬】
12	
1	青年部新年会【1月上旬】
2	幹事会3【2/10】 （異動連絡票・R6年度年間計画・R6年度総会懇親会の検討等）
3	事務局会Ⅳ【3/9】 （反省・引き継ぎ、会報20号・異動連絡票発送準備、会計監査等）

## 岐阜聖徳学園大学看護学部同窓会(れんげ会)規約

### (目的)

第1条 岐阜聖徳学園大学看護学部同窓会は、各同窓会が密接な連携の下に、相互の親睦を図り、岐阜聖徳学園大学看護学部の教育研究活動等を支援するとともに、看護学部同窓会及び岐阜聖徳学園大学の発展に寄与することを目的とする。

### (事業)

第2条 岐阜聖徳学園大学看護学部同窓会は、上記の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 看護学部同窓会および岐阜聖徳学園大学同窓会相互の親睦を図る事業
  - ・会誌、および会員名簿の発行
- (2) 看護学部同窓会および岐阜聖徳学園大学の教育研究活動に対する支援事業
  - ・講演会、集団会その他の集会
- (3) その他目的を達成するために必要な事業

### (名称)

第3条 本会は、岐阜聖徳学園大学看護学部れんげ会と称する。

### (事務局)

第4条 本会の事務局を岐阜聖徳学園大学看護学部に置く。

### (会員)

第5条 本会は次に会員をもって組織する。

- (1) 正会員 岐阜聖徳学園大学看護学部を卒業した者
- (2) 準会員 岐阜聖徳学園大学看護学部在学する者
- (3) 特別会員 正会員でない岐阜聖徳学園大学看護学部教職員及び教職員であった者

### (会費)

第6条 正会員は終身会費 3000 円を納入するものとする。

- 2 会費納入は原則として学部卒業時とする。
- 3 正会員以外の会員は会費を要しない。
- 4 卒業生で会費の納入がない場合、継続して徴収する。

### (退会)

第7条 会員が死亡したときのほか、次の事項に該当する場合、役員会の議を経て退会したものとす。

- (1) 会員が理由を付した退会届を提出したとき

### (除名)

第8条 本会の名誉を著しく傷つける行為をしたとき、総会の議決により会員を除名する

ことができる。

#### (組織)

第9条 本会に次の役員を置く。

- |          |     |
|----------|-----|
| (1) 会長   | 1名  |
| (2) 副会長  | 2名  |
| (3) 事務局  | 2名  |
| (4) 会計   | 2名  |
| (5) 会計監査 | 2名  |
| (6) 評議員  | 若干名 |

#### (役員選出)

第10条 役員を選出方法は次のとおりとする。

- (1) 会長1名は役員会において正会員中より選出する。
- (2) 副会長2名は役員会において正会員中より選出する。
- (3) 事務局2名は役員会において正会員中より選出する。
- (4) 会計2名は役員会において正会員中より選出する。
- (5) 会計監査2名は役員会において正会員中より選出する。
- (6) 評議員若干名は役員会において岐阜聖徳学園大学同窓会評議員より選出する。

第11条 役員会の会務は次の規定による。

- 1 会長は本会の代表として会の運営を統括する。
- 2 副会長は会長を補佐し会長に事故のあるときはその職務を代行する。
- 3 事務局は外部と役員との連絡を調整する。また、同窓会会員の入会手続きを担当する。また、役員会ならびに総会の開催、議事録作成を担当する。
- 4 会計は同窓会運営費の会計を担当する。
- 5 評議員は、岐阜聖徳学園大学同窓会との連絡調整を行う。
- 6 役員のうち事務局1名及び会計1名を看護学部教員に委嘱することができる。
- 7 役員会の運営にあたり必要と認める場合は、事務局及び会計は2名以上置くことができる。

#### (役員任期)

第12条 役員任期は2年とする。但し、会長および副会長は再任を妨げない。

第13条 役員任期満了後であっても後任者が就任するまで職務を行うものとする。

#### (会議)

第14条 会議は、総会および役員会とする。

第15条 総会は毎年1回開催するものとし、正会員、特別会員をもって構成する。

役員会は、役員をもって構成する。

第16条 総会は、本会における最高決議会議と位置づけられ、次の事項について議決を



行う。

- (1) 事業の計画および実施に関する事項
- (2) 予算および決算に関する事項
- (3) 規約の改正に関する事項
- (4) その他本会の運営に関する事項

第 17 条 総会は、定期総会および臨時総会とし、定期総会は年 1 回開催し、臨時総会は役員が必要と認めたとき、または正会員の 3 分の 1 以上の請求があったときに開催する。

2 役員会は、会長または役員が 3 分の 1 以上が必要と認めたとき、会長が招集する。

第 18 条 総会の議長は、出席した正会員である構成員の中から選出する。

2 役員会の議長は会長がこれに当たる。

第 19 条 会議の議事は当日出席した正会員である構成員の過半数の同意をもって決し、可否同数の時は議長がこれを決める。

#### (資産および会計)

第 20 条 本会の資産は会費及び寄付金、その他をもってこれにあてる。

- 1 正会員が納入した終身会費
- 2 本会の目的・事業に賛同した者の寄付金
- 3 会費の変更については、総会で定める。
- 4 その他の雑収入

第 21 条 本会の資産は、会長が管理し、その方法は総会の定めるところによる。

第 22 条 本会の会計は、会計年度毎に会計監査を受ける。

第 23 条 本会の会計年度は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

第 24 条 前年度会計は、定期例総会において会計幹事がこれを報告する。

#### (会費の免除)

第 25 条 次の各号に該当する会員は、本人の申し出により、役員会の議を経て会費の免除を受けることができる。

- (1) 海外留学中の会員
- (2) 満 80 歳を超えた会員
- (3) 疾病その他特別の事由のある会員

#### (支部)

第 26 条 本会は、必要と認めた地に支部を設けそれぞれ代表者を置くことができる。

#### (会則の改正)

第 27 条 会則の改正は、総会の議決による。

#### 附 則

1. 当分の間、会費は徴収しないものとする。
2. 本規約は、令和 5 年 12 月 1 日から施行する。

令和4年5月18日

## 岐阜聖徳学園大学創立(開学)50周年に向けて

本学園は、昭和38年(1963)4月、岐阜南高等学校を開校し、仏教精神とりわけ大乘仏教の精神を建学の精神とし、浄土真宗の宗祖親鸞聖人と国の教主と敬慕された聖徳太子の「以和為貴」(和をもって貴しとなす)の聖句をその象徴として掲げ、「平等」「寛容」「利他」の大乘仏教の精神を体得する人格の形成をめざしてまいりました。

本学は、昭和41年(1966)「聖徳学園女子短期大学」を設置しました。さらに昭和47年(1972)4月、私学では全国初の義務教育学校教員養成のための教育学部単科大学「聖徳学園岐阜教育大学」(定員100名)としてスタートし、昭和60年(1985)には男女共学制を導入、平成2年(1990)には外国語学部、平成10年(1998)には経済情報学部、平成27年(2015)には看護学部を設置し、4学部を擁する総合大学として発展してまいりました。入学者数は、開学当初の44名から、今年度746名を迎えるまでに至り、令和4年度の在学生数は約3,050人にまで発展しました。開学からの卒業生数は21,000人を超えるまでとなり、開学以来建学の精神のもと、和を重んじ、豊かな教養と人間性を備え、専門的な知識と技能を持った人材の育成に努めてまいりました。

令和4年度に本学は創立50周年、学園は令和5年度に創立60周年を迎えます。平成25年発行の聖徳学園創立50周年記念誌で、杉山理事長は「この創立50周年を到達点ではなく出発点と捉え、「第二の創設」として学園創設の原点に立ち返り、建学の精神に即して、築き上げてきた伝統と学風を大切にしながら、創立100周年に向けて新たな将来構想を切り拓き、不断の変革によって未来に挑戦してまいります」と綴られ、学園は「グランドデザイン」をベースに教育・研究の資質向上を目指した教育環境の整備を計画的に行ってまいりました。今回本学が50周年を迎えるにあたり、ひとつの節目として、今までの50年を振り返りながら、令和3年度～令和5年度にかけて「創立(開学)50周年記念事業」を推進してまいります。今年度を「新生岐阜聖徳学園大学 創生元年」とし、中長期計画を基にこれからの半世紀を見越した大学の基盤作りをするため、新たな飛躍の契機とする「出発年」としたいと考えております。

記念事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の流行や昨今の財務状況を勘案して、記念式典や記念誌の発行(デジタル版のみ発行)などは行わず、以下のような事業計画に「50周年」の冠を付け、ステークホルダーや学内に周知していきたいと考えております。

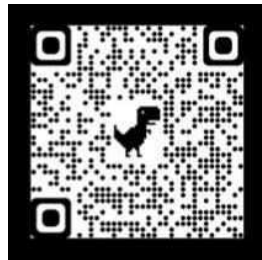
- これからの半世紀を見据えた学部のビジョンを打ち出し、改組や新たなカリキュラムの編成、学園内の幼・小・中・高等学校との連携強化など新たな方向性を提言する。
- 本学最大の財産である同窓生との絆を深めるため、全学部を対象としたホームカミングデーの開催、同窓会ネットワークを再構築し、学生募集や在学生のインターンシップの斡旋および就職活動のサポートなどを依頼できる体制を整える。卒業後も在学中のメールアドレスを残してメーリングリスト作成し、永続的に情報発信を行う。
- 大学ホームページ内に「50周年記念事業特設サイト」を立ち上げ、事業内容、写真で振り返る50年のあゆみ(デジタル記念誌)等を紹介する。また、50周年記念ロゴおよびスローガン(キャッチコピー)の作

成を行う。

- 令和5年度に50周年記念講演会およびシンポジウムを開催する。
- 中長期計画および各年度の事業計画との連携企画
  - ・令和3年度:岐阜キャンパス屋内運動場GIAの建築、羽島キャンパス南グラウンド人工芝敷設工事
  - ・令和4年度:DX推進センターの設置、卒業生である落語家の真打ち昇進記念落語会、後援会主催の橋下徹氏教育後援会、教育実践科学研究センター主催の教育フォーラム、仏教文化研究所と台湾:法鼓文理学院との国際シンポジウムなど。
  - ・令和5年度:教職センター(仮称)の設置。羽島キャンパス第二学生会館南側整備など。

以上、教職員の皆さまのご協力を賜りながら、一丸となってこの記念事業を進めていくことができましたら幸いです。なお、この事業を教職協働で進めるにあたって、副学長をリーダーとして、各学部の評議員から1名ずつと事務職員で構成する「50周年記念事業推進部会」を立ち上げたいと考えております。

このほかにご提案並びにご意見等がございましたら、以下のフォームからお寄せください。



令和5年3月15日

## 岐阜聖徳学園大学・短期大学部同窓会への依頼事項

### ○同窓会管理の生涯メールアドレス付与

- ・同窓会運営によるメールサーバーの立ち上げ（アドレスは学籍番号を利用）
- ・大学事務局と協働して、定期的に情報を発信する（同窓生の活躍など）。

### ○入学者・卒業者（入口・出口）におけるフォローアップ

- ・学生募集サポーターの募集（高校訪問等）
- ・地方出身学生のインターンシップ・就職の斡旋、セミナーの開催
- ・県人会の立ち上げ

### ○同窓会事務局非常勤職員の採用

- ・学生課内に同窓会雇用の非常勤職員を置き、WEB ページの更新、メールマガジンの発行、「和-yawaragi-」の編集に携わって頂く。  
（例：週2日×4時間勤務×時給1,000円×4週＝32,000円）  
（また、学生課には本学卒業生の事務職員を必ず配置することとする。  
加えて、本学を卒業した教職員で組織する部会を立ち上げる。）

### ○ホームカミングデイの開催

- ・大学事務局と協働して、ホームカミングデイを開催する。

### ○総会開催時に講演会を開催

- ・総会開催時にイベント（講演会やシンポジウムなど）を開催する。

### ○地方の同窓会組織との協力

- ・例：名古屋市内の教員グループ「聖和会」とのタイアップ企画の実施。

岐阜聖徳学園大学同窓会 御中

## アラムナイプラットフォーム Chimer 卒業生活活性化サポートのご案内



Syoya, Inc.  
笑屋株式会社



### ご提案要点

## 卒後も伴走し、時を超えて 「和」を、つなぎ続ける

卒業生

相互の交流を促進し、  
新たな繋がりを  
創り出す

在学生

期待される効果

- ・同窓会（大学）  
活動の活性化・卒業生との双方向コミュニケーション・若手卒業生の活動参加促進・卒業生の動向把握
- ・卒業生  
キャリア相談・ビジネスチャンス創出・継続学習やリカレント教育の機会提供
- ・在学生  
学部を超えた交流。卒業生から実践的なフィードバックや経験の提供

目次

01	会社概要	.....	3 p
02	目指す姿と本提案のスコープ	.....	9 p
03	解決策のご提案	.....	15 p
04	プロジェクト体制図とスケジュール	.....	23 p
05	料金体系	.....	29 p
06	参考情報	.....	31 p

【おことわり】02～05については、本会と株式会社笑屋の検討事項のため、資料を削除しています。

# 01

## 会社概要



## 会社概要

### Mission

再会とコミュニティをつくり、  
ライフスタイルを豊かにする

社名	笑屋株式会社 / Syoya, Inc.
設立	2009年1月15日 (創業2009年5月)
所在地	東京都千代田区神田神保町2-12-3 L&Kビル5F
資本金	301,626,000円 (資本準備金含む)
代表者	代表取締役 真田 幸次
事業	同窓会・アラムナイネットワークに関連したコンサルティングおよびインターネットサービス
株主 ※順不同	経営陣・藤田観光(東証プライム)・CAM(東証プライム/サイバーエージェントグループ)・CARTA VENTURES(東証プライム/CARTA HOLDINGSグループ)・アイモバイル(東証プライム)・広島ベンチャーキャピタル(広島銀行グループ)など

5

## 事業内容

弊社は3つの事業で「再会とコミュニティづくり」を支援している企業です。

人生100年時代、モノやサービスが充足している世の中で、人に幸福感や生きる希望を与えるのは社会や人とのつながりであり、実現するのはコミュニティの力だと考えております。

### 1. 同窓会幹事代行事業

個人向けの同窓会イベントサポート



### 2. アラムナイ事業

学校法人向けコンテンツ制作・運営



### 3. プラットフォーム事業

アラムナイ向けプラットフォーム開発



6

## 校友領域の実績

様々な高等教育機関(大学・専門学校)との取引の他、案件相談やインタビューなどを通じ、多くの大学とのネットワークがあります。

取引大学数： **40** 大学      校友関連部署とのネットワーク数： **350** 大学



7

## 弊社の強み

アラムナイネットワークやコミュニティの力を信じ、校友領域の成功にフルコミットしている随一の企業です。

### merit 1.

中長期の価値提供にコミットできる



プラットフォームの導入やサイトリニューアルはあくまでスタートです。中長期の目標やKPI達成に向けた施策実行と、リリース後の運用こそが成果を出すためには重要です。

### merit 2.

一気通貫のサポート体制



イベントの企画・開催、組織改善、プラットフォーム開発など目的達成に必要な様々なサービスを展開しており、ワンストップでの提案が可能です。

### merit 3.

校友領域の深い知見とネットワーク



校友領域に関する国内随一の実績やネットワークを活かし、知見の共有や効果的な提案を行い、プロジェクトを成功に導きます。

8



# 06

## 参考情報



### 事例1：株式会社明光ネットワークジャパン 様

個別指導塾のパイオニアである明光ネットワークジャパン様は、卒業したアルバイト講師だけでなく現役講師や教室長もChimerに参加いただきプロジェクトを進めています。



### 明光ネットワークジャパン

明光義塾事業本部 事業企画部  
本間 昂大 様、関澤 南 様

#### 課題

- ・塾市場が鈍化、他社との差別化に苦しんでいた
- ・過去にコミュニティ施策を実施したが、運用が滞ってしまい頓挫した経験がある

#### Chimerを選んだ理由

- ・卒業生コミュニティを大事にする観点が自社のコンセプトにマッチしていた
- ・システムだけでなく、手厚い運用支援があった

#### 効果

システムの導入だけでなく、運営の伴走支援によって担当者が判断しやすい状況ができた

繋がりが途絶えていた卒業生に対して、講師の経験が共有できるような場を提供できた

#### 詳細

アクティブユーザーやアクセス数などの定量報告だけでなく、コミュニティ運営など定性的なサポートのおかげで担当者が施策立案や実行をしやすい状況になっている

元々教室間の繋がりが薄かったが、インタビューなどを通して潜在的に明光を活かした繋がりを求めている卒業生・講師がいることが判明した

## 事例2：東北医科薬科大学 医学部 様

東北医科薬科大学様は、2016年に医学部が新設され2022年3月に初めての卒業生を輩出。スチューデント・ドクターとなった4～6年次の在学生・医学部卒業生・大学教職員を対象にChimerを導入。医師として活躍する卒業生を大学が支援していくことを目的に運営しています。



東北医科薬科大学  
医学部教育研究科



河合 佳子 様：医学部 生理学教室 教授 / 医学部卒業生交流支援センター センター長  
鈴木 清隆 様：医学部事務部 キャリア支援課

### 課題

- ・大学として卒業生と繋がる仕組み体制がない
- ・卒業後、自身の悩みを相談できる環境が少ない
- ・卒業生が輩出されたばかりでロールモデルが少ない

### Chimerを選んだ理由

- ・学生や若い卒業生に馴染みやすいデザイン
- ・名簿情報とSNSが連携している点
- ・機能改善により利便性が向上し続けている点

### 効果

卒業後も情報発信が実施できるようになり、弊社が分析・解析に入ることによってPDCAを継続

卒業生と在学生が何でも質問できるような座談会を開催、参加者の満足度も高い

### 詳細

大学による教員インタビューや1期生の研修医生活報告など、卒業生・在学生どちらにも関心があるコンテンツ配信などは、一定の反応率を得ている

国家試験の会場の様子や失敗談等の生の声の共有など、在学生の課題に着目したコンテンツによって施策の継続率や参加者満足度の高い取り組みを実現している

33

## 事例3：大阪文化服装学院 様

ポーダレスな世界で活躍できるプロフェッショナルを輩出する大阪文化服装学院様では、2022年より卒業生支援プロジェクトとして「OIFer LINK(オィファー・リンク)」を発足し、OIFer LINKのプラットフォームとしてChimerを導入しました。



OIF  
OSAKA  
INSTITUTE OF  
FASHION



OSAKA INSTITUTE OF FASHION

豊田 晃敬 様：経営企画本部 副本部長 国際戦略・産学連携担当  
白倉 亮一 様：入学広報課 副課長 兼 キャリア支援課 課長

### 課題

- ・インキュベーションは他校に遅れを取っていた
- ・著名な卒業生がまだ少ない
- ・学院に求人の方は来るが、卒業生と上手く連携できない

### Chimerを選んだ理由

- ・卒業生全体で利用できる
- ・名簿項目など細部までカスタマイズ可能
- ・システムだけでなく、手厚い運用支援があった

### 効果

学院と同窓会で情報が散漫していたが、卒業生の名簿情報を一元管理できるようになった

初開催のホームカミングデーが成功し、全体に対してOIFer LINKの周知ができた

### 詳細

名簿は今後の運用を踏まえて統合することができた上、毎年卒業式でSNSへ登録させることで情報を積み上げていける

システム導入だけでなく連動させたイベント企画も支援、学校開催にすることで先生方にも協力いただき「一体感」のあるイベントとして盛況だった

34



貴学の課題に合わせて、最適なお提案をさせていただきます。  
気になる点・ご質問がありましたら、お気軽にご連絡ください。

**笑屋株式会社 / Syoya, Inc.**

お問い合わせ：アラムナイ事業部 伊能



[alumni-labs@syoya.com](mailto:alumni-labs@syoya.com)



<https://alumni-labs.com/>

